進取に富んだ気風 次代につなぐ

カグラベーパーテック60周年

新たなアイデア ロングセラー続々 斬新 VR国内シェア首位の60%

カグラベーパーテック（本社・尼崎市、玉井健一社長）は2月、創立60周年を迎えた。1958年に創業し、手動式LPガス移充填ポンプの製造販売を皮切りにプラント、ベーパーライザー（VR）、高圧ガス設備保安検査など事業領域を広げ市場のニーズに応えてきた。2003年には中国・上海にも生産拠点を構え、現在では主力のLPガスベーパーライザー事業の国内シェアはトップの約60%を誇る。「Energy Niche Supporter」を標榜する同社は今後もニッチな領域に活躍の場を求めていく考えだ。玉井社長に次なる飛躍への展望を聞いた。

簡易オートガススタンド「オートコンポ」はプロパン、オートガスいずれのガス種にも対応。プロパンでは災害対応バルクの型式認定を受けており補助金の対象になる

効率的な生産体制と厳格な品質管理体制を敷く有馬工場

玉井健一社長

――創業からの歴史を振り返って下さい。

私が生まれた1958年に父・玉井薫が岡本造機製作所を創業し、LPガス充填用手押しポンプで業界に参入した。当時はLPガスの創成期で充填所がどんどん建設されていた時代。ポンプで得たご縁を生かしてその後、充填所やオートガススタンド、さらに消費プラント建設に進出した。当時、米国からの輸入品に頼っていたVRを見よう見まねでつくり始めたのもこのころ。70年代には可搬式のドライヤーや鉄道のポイントヒーティング装置などのLPガス消費機器も製造していた つくり続けていたら、当社の歩みも大きく変わっていただろうと思うこともある。

――印象に残る製品は。

当社の製品は先端技術にかかわるものではないが、それまで誰も思いつかなかったような斬新なアイデアで顧客のニーズを実現してきた。例えば76年にリリースした液自動切替装置「キリカエ」は重錘を切り替えの仕組みに利用した半自動タイプ。他社の差圧式全自動タイプより作動が確実なことから小口工業用で大いに受け、ロングセラー商品となった。85年に発表した「カグラバルクシステム」は2・9㌧貯槽と消費型VRを組み合わせたユニット商品で、その後の「バルクコンポ」やVR内蔵バルク「BAiO（バイオ）」シリーズの先駆けとなった。91年発売の「スーパーゴールドU」はマイコンを搭載した画期的なVRだった。外気温に合わせて温水温度を制御するため、冬場は40度Cのぬるま湯で熱交換でき、約30%の省エネを実現した。

イラストが趣味の玉井社長。記念品用の自画像と自社キャラクター「メンテにゃん」を描いた

当時はまだマイコンが高価で製品価格が高かったことからあまり普及しなかったが、時代を先取りした商品だとほれ込んで一生懸命売り込んだことを懐かしく思い出す。もちろん、コンパクトVR「ミニマム」には思い入れが深い。「シェア50%獲得」を明確な目標として開発した製品で、3年の歳月をかけて超小型、高性能、低価格を実現した。98年の発売当初から好評を博し、当社をVRのトップメーカーに押し上げてくれた。2005年に発売した簡易オートスタンド「オートコンポ」は数年越しで省令改正を実現した。モノになるまで時間がかかっただけに愛着の深い製品だ。

――社名に込めた思いをお聞かせ下さい。

創業時は岡本造機製作所で1962年に神楽製作所に社名変更した。現社名は創立50周年時に「名が体を表す名前にしたい」という強い思いから名付けたものだ。ベーパーライザー、ガスと蒸気を表す「ベーパー」と技術の「テック」を組み合わせ、LPガス業界に馴染む分かりやすい社名にした。ミニマムなどが牽引役となりVRシェアが50%を超えた現在、「トップシェアの罠（わな）に陥ってしまった」と自社の製品競争力や営業力を省みている。危機感と適度な緊張感を持って業界に貢献したい。

――新規事業への取り組みについて。

エネルギーは激動の時代を迎えているが、当社には千載一遇のチャンスと考える。これからもエネルギー分野で世の中のお役に立ちたい。ただ、大企業と同じことは到底できない。目指すのは「Energy Niche Supporter」。大企業の手が届かないニッチな領域でエネルギーの未来を支えていきたい。オートコンポも事業の柱となるまで10年以上の年月を要した。新規事業はモノになるまで多大な時間がかかる。LPガスだけでなくLNGや水素の分野でも10年先を見据え、大胆かつ慎重に取り組んでいきたい。金も活用できる。最近、ハイエースやプロボックスなどの配送車を多数保有する企業にプロパンバイフューエル車とオートコンポのセット導入を提案している。導入企業には大幅な燃料コスト削減とBCP対策となり、LPガス事業者にはこれまでLPガスユーザーでなかった需要先の開拓になる。当社と改造業者も含めたWIN－WINの関係となる魅力的なビジネススキームだと自負している。

「オートコンポ」車向けLPガス需要促進

――LPガス業界でのカグラの使命は。

電気エネルギーの普及拡大や化石燃料枯渇への懸念、再生可能エネルギーの台頭などで業界が転機にあるのは確かだが、LPガスは今後も必要不可欠なエネルギーだ。LNG同様にクリーンで、可搬性はLNGより優れる。今注目しているのは給油過疎地などの問題に対するガソリン代替としてのLPG車の燃料はブタンリッチのオートガスが主流だったが、当社はプロパンを自動車燃料として活用することを推奨している。プロパンガス充填所は全国津々浦々、既に網の目のようにインフラが整っている。過疎地の車をプロパン車に置き換えれば、既存の充填所に及ぼすディスペンサーを1台設置するだけで給油過疎地の問題は解決する。今後は優良な改造業者とタイアップし、品質・性能に優れたプロパン車の普及に力を入れていきたい。もちろんプロパン車の普及が進み、当社の簡易スタンド「オートコンポ」の販売拡大につながることにも期待している。

――オートコンポを活用した需要拡大策について。

オートコンポは05年の発売以来、90基を超える実績を重ねてきた。オートガスだけでなくプロパンも充填できることが他社製品にない大きな特徴。プロパン仕様であれば災害対応バルクの補助金も活用できる。最近、ハイエースやプロボックスなどの配送車を多数保有する企業にプロパンバイフューエル車とオートコンポのセット導入を提案している。導入企業には大幅な燃料コスト削減とBCP対策となり、LPガス事業者にはこれまでLPガスユーザーでなかった需要先の開拓になる。当社と改造業者も含めたWIN－WINの関係となる魅力的なビジネススキームだと自負している。

小型化と高性能を両立しデザイン性と強靭さを併せ持つ「ミニマム」の現行モデル「アスリート」。蒸発能力は毎時30 ～ 300㌔㌘まで6機種を揃え5年間の長期保証付き

真のグローバル企業へ チェンジ！変革にゴールなし

――海外戦略は。

当社は30年以上前から中国・東南アジアへの輸出を手がけている。2003年、中国・上海に新たな生産拠点、神楽燃気設備（上海）有限公司を設立した。現在では中国や東南アジアだけでなくロシア、インド、中東、アフリカ、オセアニア、中南米に販路を広げている。今後もさらに代理店網を拡充し、本当の意味でのグローバル企業を目指したい。

今春、海外向けの戦略商品として小型壁掛け式VR「DX」を発売した。水を使わないアルミ鋳込み式で、能力は毎時30㌔㌘。東南アジア・中東を中心に年間500台の販売を見込んでいる。DXを先導として、これまで入り込めなかった市場への進出を図り、世界のトップメーカーである米アルガス・サムディック社と互角に戦えるメーカーになりたい。

――次代への抱負を。

まずは60年前、まだ創成期だったLPガス業界に飛び込んだ創業者の父・玉井薫の先見の明に敬意を表したい。カグラは創業から三十数年は父が、その後の二十数年は私が担ってきたことにならない。次の世代には私が経験したこと、考えていることをしっかり伝えておきたい。ますます先が読めない時代だが、カグラが目指す大きな方向性だけは示しておきたい。私自身が30年後の世界を見ることは難しいだろうが、私がまいた種のうち一つでも二つでも実を結んでいれば幸せだ。

今年は、創業60周年という節目を目がけてグループで取り組んできた「節目プロジェクト」の最終年度に当たる。「Change! Change! Change!」をスローガンとして進めてきたプロジェクトの完遂が当面の課題だが、これからもカグライズムとして掲げる「現状維持は罪悪」を肝に銘じ、国内外で果敢に挑戦を続けていきたい。

今年発売したベーパーライザー「DX」は海外向けの戦略商品

60年の歩み

1958年	玉井薫氏らが岡本造機製作所を設立。創業時はＬＰガス用充填ポンプの製造販売と船舶補助機関を製作
1959年	玉井薫氏が社長就任
1961年	大型ＬＰガス充填所の建設増加に伴いＬＰガスプラント事業に進出
1962年	神楽製作所に社名変更
1966年	初のベーパーライザー「ベーパーゴールド」発売。西宮市に生産拠点の有馬工場を完成
1973年	高圧ガス設備の保安検査・総合検査・工事を行う関連会社カグラエンジニアリングを設立
1990年	現在の本社新社屋が完成。カグラインベストに社名変更
1998年	コンパクトベーパーライザー「ミニマム」発売
1999年	玉井健一氏が社長就任
2001年	有馬工場の新社屋が完成
2003年	中国上海に神楽燃気設備（上海）有限公司を設立し海外進出果たす
2004年	ベーパーライザー内蔵のオールインワンバルク「ＢＡｉＯ」発売
2005年	消費型ベーパーライザーのシェア50%を達成。簡易オートガススタンド「オートコンポ」発売
2006年	ＬＮＧベーパーライザー事業に進出
2008年	創立50周年。現社名のカグラベーパーテックに変更
2010年	ＬＮＧベーパーライザー「ナチュライザー」発売
2015年	ＬＮＧプラント事業に進出
2016年	有馬工場に新倉庫完成
2017年	ＢＡｉＯ設置2000基達成
2018年	創立60周年。オートコンポで「ひょうごNo.１ものづくり大賞　選考委員会特別賞」受賞。海外向け小型ベーパーライザー「ＤＸ」発売

会社概要

本社	尼崎市立花町1丁目2番1号
事業資本金	1958年2月18日
設立	5700万円
製品	▽営業所＝仙台、東京、名古屋、大阪、福岡▽工場＝有馬（西宮市）
関連会社	ＬＰガス蒸発器、ＬＰガス供給機器、ＬＰガスバルク供給設備、ＬＰガスプラント、簡易オートガススタンド、ＬＮＧ気化器
	カグラエンジニアリング、神楽燃気設備（上海）有限公司

KAGLA Eco Friendly

Energy Niche Supporter

おかげさまで創業60周年

60th ANNIVERSARY 1958-2018

カグラベーパーテック株式会社

本　社　兵庫県尼崎市立花町1-2-1　〒661-0025　TEL 06-6429-2691　FAX 06-6422-0134　http://www.kagla.co.jp